

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2013年3月調査）

2013年4月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容	1
II. 調査の結果	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2013年1～3月の実績と2013年4～6月の見通しを3月初旬時点でうかがったものであり、1,099社からご協力をいただき、回答率は44.0%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

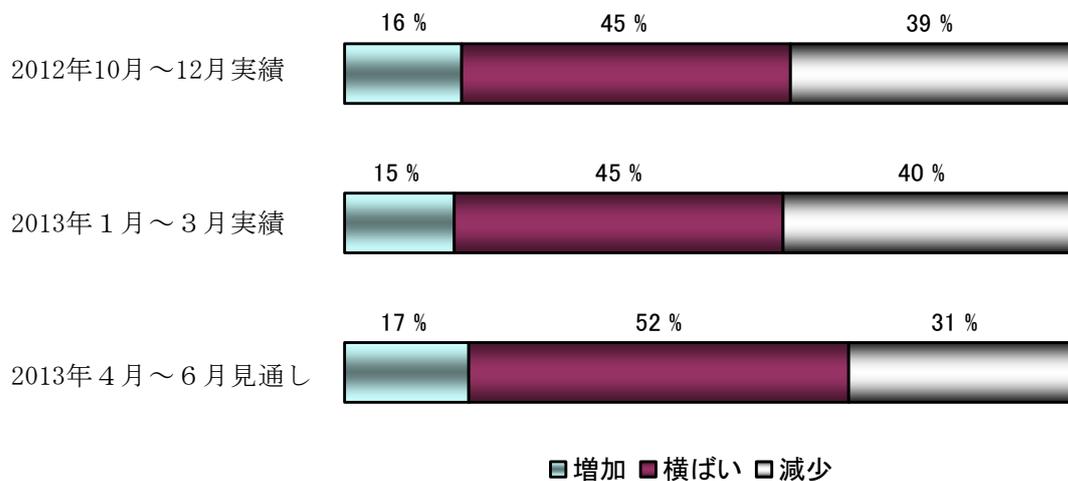
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	107	46.1
	織 維 ・ 衣 服	111	42	37.8
	木 材 ・ 家 具	96	46	47.9
	パ ル プ ・ 紙	107	50	46.7
	化学・プラスチック	239	113	47.3
	窯 業 ・ 土 石	102	42	41.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	114	58.5
	金 属 製 品	128	50	39.1
	一 般 機 械	222	97	43.7
	電 気 機 械	333	132	39.6
	輸 送 用 機 械	251	103	41.0
	精 密 機 械	67	27	40.3
	そ の 他	167	61	36.5
	計	2,250	984	43.7
卸 売 業	生 産 財	124	64	51.6
	消 費 財	126	51	40.5
	計	250	115	46.0
合 計		2,500	1,099	44.0

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

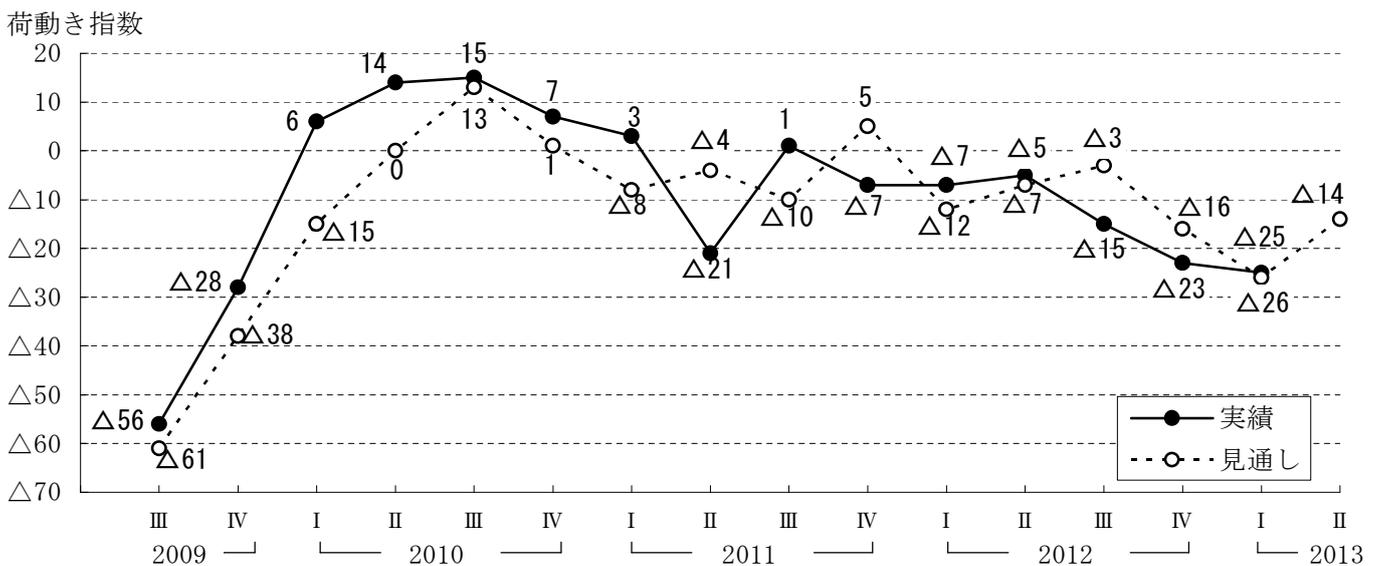
- 2013年1～3月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2012年10～12月）実績より1ポイント低下し15%となった。一方、「減少」との回答は前期より1ポイント上昇し40%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は2ポイント低下して△25となった。
- 2013年4～6月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2013年1～3月）実績（見込み）より2ポイント上昇し17%となる一方、「減少」との回答は9ポイント低下し31%になる。この結果『荷動き指数』は11ポイント上昇して△14と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



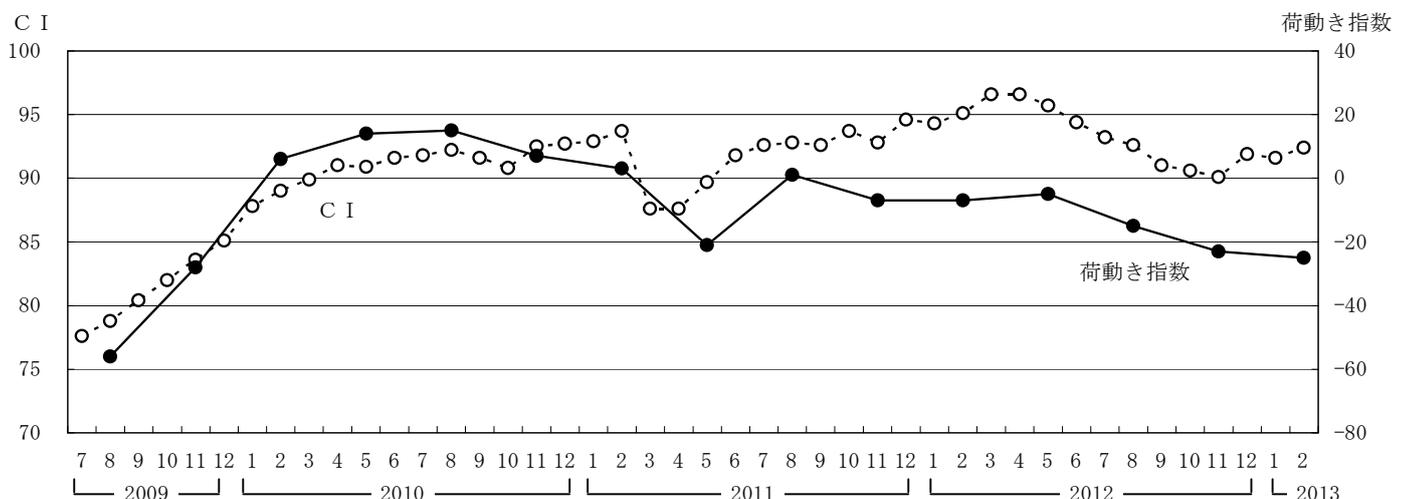
■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2011年10～12月実績以降水面下の推移が続き、2012年7～9月実績（見込み）では前期比で10ポイント、10～12月実績（見込み）では同8ポイントの大幅な下落となった。しかし、2013年1～3月実績（見込み）では、前回調査における見通し（△26）を1ポイント上回り、荷動きには下げ止まりの兆しが窺える。さらに、2013年4～6月見通しでは11ポイントの改善が見込まれており、荷動きの回復が期待される。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』（2013年II期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し）、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』（2013年I期の『荷動き指数』は今回調査における判断）。

景気動向指数（C I；一致指数）と国内向け出荷量『荷動き指数』の推移



注) 1. 荷動き指数は四半期ごとの数値のため、2月、5月、8月、11月の位置にプロットしている。
2. 景気動向指数研究会によると、第14循環における景気の山は2008年2月、景気の谷は2009年3月となっている。

■ 2013年1～3月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、多くの業種において前期（2012年10～12月）実績よりも悪化した。木材・家具が唯一プラスを示す以外は、残り14業種が2ケタのマイナスとなった。

■ 2013年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、輸送用機械において前期（2013年1～3月）実績（見込み）よりも『荷動き指数』が低下し、一般機械および電気機械が横ばいとなる一方、残り12業種では上昇する見込みである。このように、多くの業種において荷動きには下げ止まりの兆しが窺えるものの、プラスの業種は木材・家具、窯業・土石、生産財卸の3業種にとどまっており、依然として広範囲の業種で荷動きは停滞している。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	103	16	52	32	△16	103	20	59	21	△1
	繊維・衣服	41	10	51	39	△29	40	12	55	33	△21
	木材・家具	46	37	41	22	15	46	30	61	9	21
	パルプ・紙	48	12	50	38	△26	48	25	50	25	0
	化学・プラスチック	110	9	52	39	△30	109	17	61	22	△5
	窯業・土石	41	20	46	34	△14	41	20	71	9	11
	鉄鋼・非鉄	112	13	34	53	△40	111	15	51	34	△19
	金属製品	47	10	43	47	△37	46	15	46	39	△24
	一般機械	93	18	42	40	△22	93	20	38	42	△22
	電気機械	131	16	40	44	△28	130	13	46	41	△28
	輸送用機械	100	17	38	45	△28	100	9	43	48	△39
	精密機械	27	15	33	52	△37	27	11	52	37	△26
	その他	58	3	50	47	△44	58	12	59	29	△17
計	957	15	44	41	△26	952	16	52	32	△16	
卸売業	生産財	63	16	54	30	△14	63	25	54	21	4
	消費財	51	8	57	35	△27	50	8	62	30	△22
	計	114	12	56	32	△20	113	17	58	25	△8
合計	1,071	15	45	40	△25	1,065	17	52	31	△14	

■ 2013年1～3月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、プラスの地域は皆無で、かつ全9地域で2ケタのマイナスを示した。前期（2012年10～12月）実績との比較では、北海道、関東、近畿の3地域で改善がみられた。

■ 2013年4～6月の見通しでは、全9地域で『荷動き指数』が上昇し、北海道ではプラスに浮上する見込みである。ただし、その他の地域においては、中国で1ケタのマイナスにとどまるものの、残りの7地域では引き続き2ケタのマイナスとなっており、荷動き回復の動きは限定的である。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

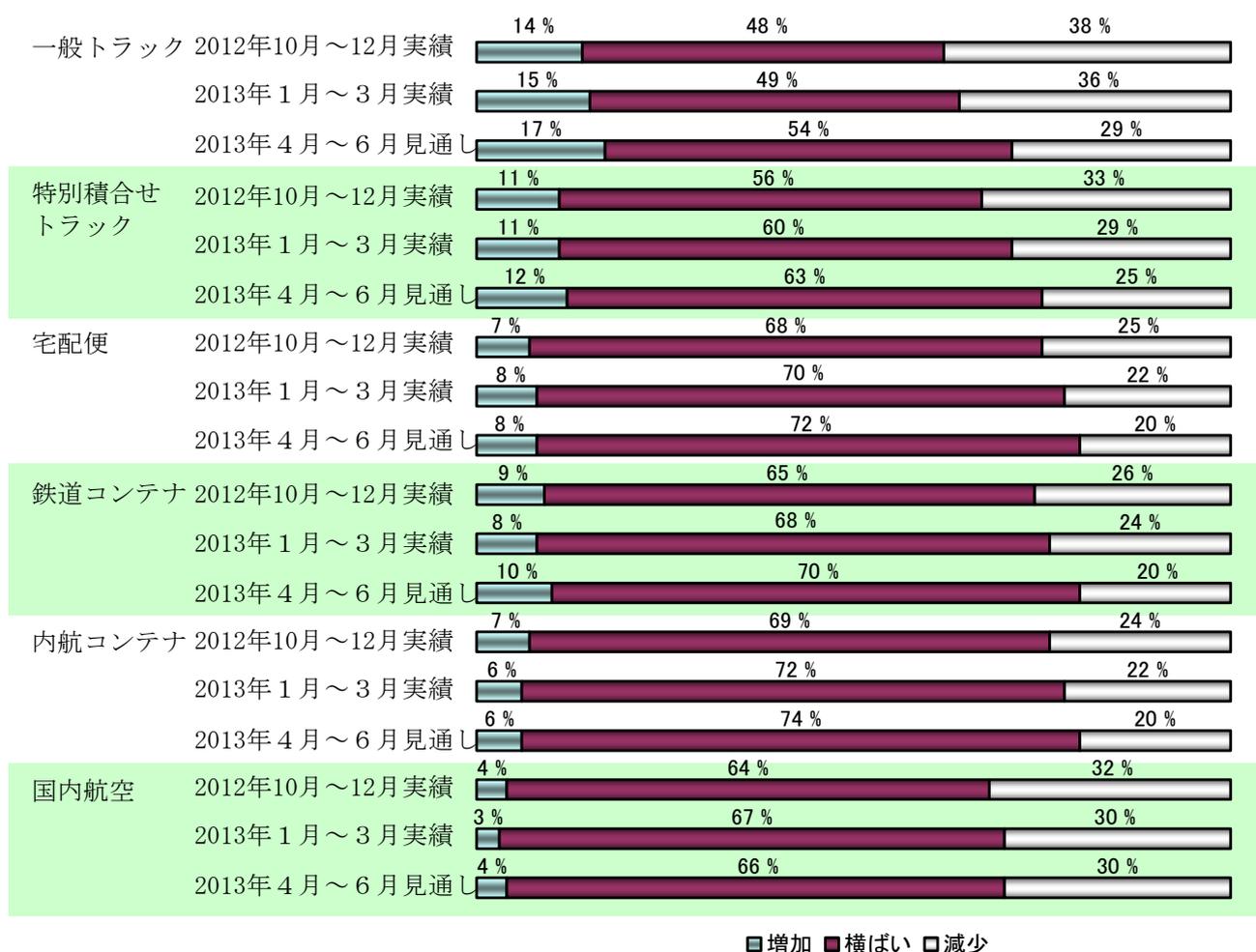
地 域	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	53	21	45	34	△ 13	51	25	59	16	9
東 北	94	11	48	41	△ 30	93	11	57	32	△ 21
関 東	273	15	45	40	△ 25	272	18	48	34	△ 16
北 陸 ・ 信 越	102	16	40	44	△ 28	102	19	50	31	△ 12
東 海	167	14	45	41	△ 27	166	14	55	31	△ 17
近 畿	154	16	44	40	△ 24	153	11	58	31	△ 20
中 国	95	18	41	41	△ 23	95	24	48	28	△ 4
四 国	57	11	56	33	△ 22	57	17	53	30	△ 13
九 州 ・ 沖 縄	76	12	47	41	△ 29	76	17	51	32	△ 15
合 計	1,071	15	45	40	△ 25	1,065	17	52	31	△ 14

－ 2. 輸送機関利用の動向－

■ 2013年1～3月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』は、すべての輸送機関において2ケタのマイナスとなった。ただし、前期（2012年10～12月）実績との比較では、いずれの輸送機関においても小幅ながら改善がみられた。

■ 2013年4～6月の見通しでは、すべての輸送機関において『利用動向指数』が改善する見込みである。ただし、いずれの輸送機関でも依然として2ケタのマイナスとなっており、この結果、総じて改善の動きはみられるものの、利用回復に向けての足取りはまだ重いものとみられる。

各輸送機関の利用の実績と見通し



(1) 一般トラック

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具が唯一プラスを示す以外は、残り14業種がマイナスとなった。『利用動向指数』は△21で、前期（2012年10～12月）実績からは3ポイント上昇した。

■ 2013年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、窯業・土石がプラスに浮上し、生産財卸もゼロ水準まで戻すなど、多くの業種で改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は9ポイント上昇して△12と見込まれ、利用の減退圧力は弱まるものとみられる。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	105	14	57	29	△15	104	19	61	20	△1	
繊維・衣服	34	9	56	35	△26	34	15	50	35	△20	
木材・家具	45	40	40	20	20	45	27	62	11	16	
パルプ・紙	49	14	49	37	△23	49	20	53	27	△7	
化学・プラスチック	112	9	53	38	△29	109	17	63	20	△3	
窯業・土石	38	18	43	39	△21	38	24	66	10	14	
鉄鋼・非鉄	110	16	35	49	△33	107	17	50	33	△16	
金属製品	49	12	45	43	△31	49	16	49	35	△19	
一般機械	97	13	50	37	△24	95	17	47	36	△19	
電気機械	120	17	48	35	△18	119	16	47	37	△21	
輸送用機械	98	18	39	43	△25	97	11	42	47	△36	
精密機械	23	17	53	30	△13	23	9	61	30	△21	
その他	58	3	52	45	△42	58	14	57	29	△15	
計	938	15	47	38	△23	927	17	53	30	△13	
卸売業	生産財	58	17	57	26	△9	57	21	58	21	0
	消費財	48	13	60	27	△14	47	9	68	23	△14
	計	106	15	59	26	△11	104	15	63	22	△7
合計	1,044	15	49	36	△21	1,031	17	54	29	△12	

(2) 特別積合せトラック

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具が唯一プラスを示す以外は、残り14業種がマイナスとなった。『利用動向指数』は△18で、前期（2012年10～12月）実績からは4ポイント上昇した。

■ 2013年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがプラスに浮上し、窯業・土石もゼロ水準まで戻すなど、多くの業種で改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は5ポイント上昇して△13と見込まれ、利用の減退圧力はいくぶん弱まるものとみられる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	70	11	63	26	△15	70	17	63	20	△3
	繊維・衣服	31	10	55	35	△25	30	10	53	37	△27
	木材・家具	32	31	47	22	9	31	23	68	9	14
	パルプ・紙	30	10	60	30	△20	29	10	62	28	△18
	化学・プラスチック	95	8	67	25	△17	94	15	72	13	2
	窯業・土石	30	13	60	27	△14	30	10	80	10	0
	鉄鋼・非鉄	71	8	60	32	△24	71	8	67	25	△17
	金属製品	35	11	63	26	△15	35	8	66	26	△18
	一般機械	74	8	57	35	△27	73	11	56	33	△22
	電気機械	98	13	55	32	△19	98	12	55	33	△21
	輸送用機械	71	9	54	37	△28	71	5	58	37	△32
	精密機械	16	6	75	19	△13	16	0	75	25	△25
その他	41	2	66	32	△30	41	15	56	29	△14	
計	694	11	59	30	△19	689	11	63	26	△15	
卸売業	生産財	49	16	60	24	△8	48	21	56	23	△2
	消費財	36	14	61	25	△11	35	11	66	23	△12
	計	85	15	60	25	△10	83	17	60	23	△6
合計	779	11	60	29	△18	772	12	63	25	△13	

(3) 宅配便

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具が唯一プラスを示す以外は、残り14業種がマイナスとなった。『利用動向指数』は△14で、前期（2012年10～12月）実績からは4ポイント上昇した。

■ 2013年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、生産財卸がプラスに浮上するなど、多くの業種で改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は2ポイント上昇して△12と見込まれ、利用の減退圧力はいくぶん弱まるものとみられる。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	81	8	73	19	△11	79	8	77	15	△7
繊維・衣服	36	16	53	31	△15	35	11	63	26	△15
木材・家具	40	18	70	12	6	38	11	82	7	4
パルプ・紙	27	7	63	30	△23	27	11	63	26	△15
化学・プラスチック	88	1	79	20	△19	85	5	81	14	△9
窯業・土石	30	10	70	20	△10	30	6	77	17	△11
鉄鋼・非鉄	69	4	77	19	△15	68	6	78	16	△10
金属製品	44	2	78	20	△18	44	5	75	20	△15
一般機械	92	5	69	26	△21	91	10	66	24	△14
電気機械	109	13	60	27	△14	108	13	64	23	△10
輸送用機械	78	9	68	23	△14	76	4	67	29	△25
精密機械	26	8	54	38	△30	25	16	60	24	△8
その他	47	2	77	21	△19	47	4	66	30	△26
計	767	8	69	23	△15	753	8	71	21	△13
生産財	52	10	73	17	△7	52	13	77	10	3
消費財	39	10	75	15	△5	36	11	75	14	△3
計	91	10	74	16	△6	88	13	76	11	2
合計	858	8	70	22	△14	841	8	72	20	△12

(4) 鉄道コンテナ

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無で、窯業・土石および精密機械がゼロ水準にとどまる以外は、残り13業種がマイナスとなった。『利用動向指数』は△16で、前期（2012年10～12月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2013年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、窯業・土石がマイナスに沈む一方、木材・家具がプラスに浮上し、化学・プラスチックもゼロ水準まで戻すなど、多くの業種で改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は6ポイント上昇して△10と見込まれ、利用の減退圧力は弱まるものとみられる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	52	12	65	23	△11	52	15	66	19	△4	
繊維・衣服	7	0	71	29	△29	7	0	86	14	△14	
木材・家具	22	5	86	9	△4	22	9	91	0	9	
パルプ・紙	36	11	47	42	△31	35	17	52	31	△14	
化学・プラスチック	76	9	75	16	△7	74	15	70	15	0	
窯業・土石	15	13	74	13	0	15	7	80	13	△6	
鉄鋼・非鉄	44	11	57	32	△21	44	11	66	23	△12	
金属製品	21	0	71	29	△29	20	0	80	20	△20	
一般機械	38	3	79	18	△15	38	5	71	24	△19	
電気機械	38	13	55	32	△19	38	13	61	26	△13	
輸送用機械	36	6	69	25	△19	36	8	67	25	△17	
精密機械	7	14	72	14	0	7	14	72	14	0	
その他	23	4	74	22	△18	23	4	79	17	△13	
計	415	8	68	24	△16	411	11	69	20	△9	
卸売業	生産財	14	0	79	21	△21	15	0	87	13	△13
	消費財	16	13	56	31	△18	15	7	60	33	△26
	計	30	6	67	27	△21	30	3	74	23	△20
合計	445	8	68	24	△16	441	10	70	20	△10	

(5) 内航コンテナ

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無で、繊維・衣服および生産財卸がゼロ水準にとどまる以外は、残り13業種がマイナスとなった。『利用動向指数』は△16で、前期（2012年10～12月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2013年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、生産財卸がマイナスに沈む一方、窯業・土石がプラスに浮上し、パルプ・紙もゼロ水準まで戻すなど、半数近くの業種で改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は2ポイント上昇して△14と見込まれ、利用の減退圧力はいくぶん弱まるものとみられる。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	33	3	82	15	△12	33	3	85	12	△9	
繊維・衣服	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0	
木材・家具	14	0	86	14	△14	14	7	79	14	△7	
パルプ・紙	19	16	58	26	△10	19	21	58	21	0	
化学・プラスチック	44	5	77	18	△13	44	7	84	9	△2	
窯業・土石	11	9	73	18	△9	11	9	91	0	9	
鉄鋼・非鉄	27	3	78	19	△16	27	3	78	19	△16	
金属製品	16	0	75	25	△25	16	0	69	31	△31	
一般機械	29	7	69	24	△17	29	7	72	21	△14	
電気機械	29	7	62	31	△24	27	0	67	33	△33	
輸送用機械	28	7	61	32	△25	28	7	57	36	△29	
精密機械	6	17	50	33	△16	7	14	43	43	△29	
その他	19	5	69	26	△21	19	5	74	21	△16	
計	280	5	72	23	△18	279	6	74	20	△14	
卸売業	生産財	9	11	78	11	0	8	0	88	12	△12
	消費財	10	0	80	20	△20	10	0	80	20	△20
	計	19	5	79	16	△11	18	0	83	17	△17
合計	299	6	72	22	△16	297	6	74	20	△14	

(6) 国内航空

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無で、繊維・衣服がゼロ水準にとどまる以外は、残14業種がマイナスとなった。『利用動向指数』は△27で、前期（2012年10～12月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2013年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、一般機械などでマイナス幅が拡大する一方、鉄鋼・非鉄などで改善の動きがみられる。業種全体の『利用動向指数』は△26と強含み横ばいで推移する見通しで、国内航空はすべての国内輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、引き続き利用の減退圧力が大きい。

国内航空利用の実績と見通し

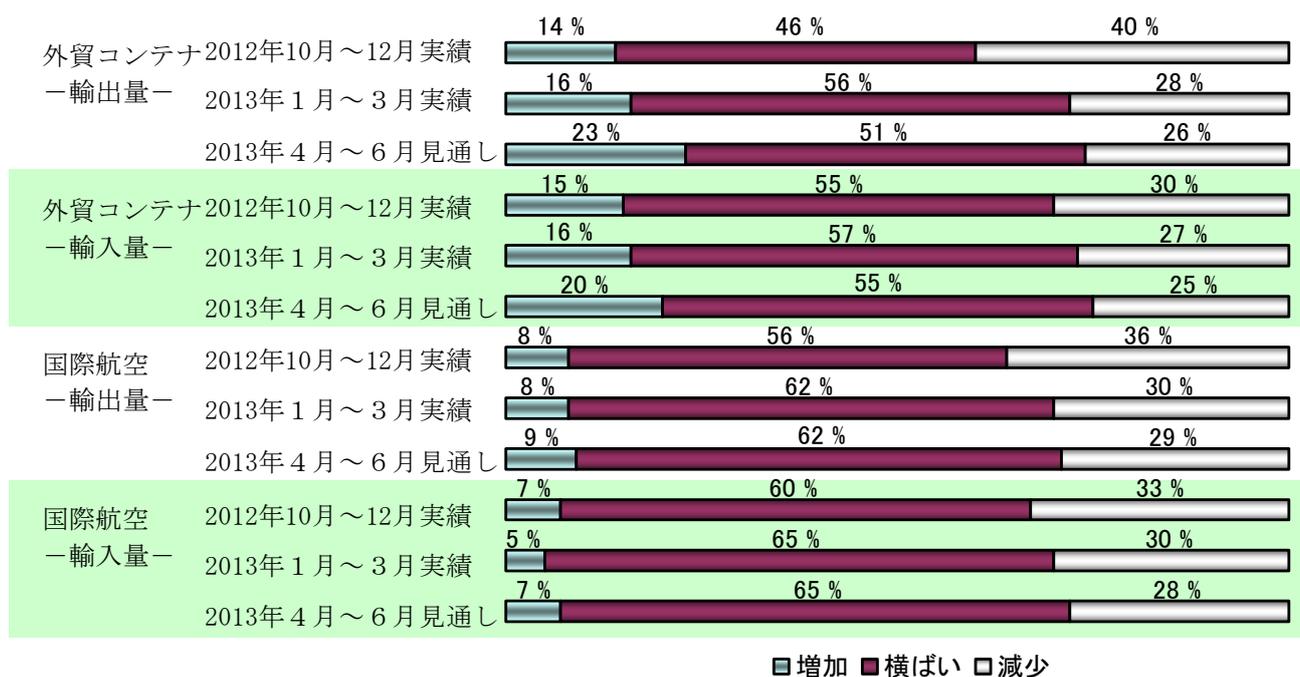
業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	26	4	73	23	△19	26	4	73	23	△19	
繊維・衣服	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0	
木材・家具	10	0	80	20	△20	10	0	80	20	△20	
パルプ・紙	8	0	63	37	△37	8	0	50	50	△50	
化学・プラスチック	30	3	87	10	△7	29	3	87	10	△7	
製造業	窯業・土石	11	18	36	46	△28	11	18	27	55	△37
	鉄鋼・非鉄	30	0	63	37	△37	30	3	64	33	△30
	金属製品	14	0	79	21	△21	14	0	71	29	△29
	一般機械	52	2	67	31	△29	52	0	69	31	△31
	電気機械	61	3	54	43	△40	60	3	54	43	△40
	輸送用機械	28	4	71	25	△21	28	3	68	29	△26
	精密機械	12	8	75	17	△9	12	0	83	17	△17
	その他	19	5	69	26	△21	19	5	63	32	△27
計	307	3	68	29	△26	305	3	67	30	△27	
卸売業	生産財	16	0	69	31	△31	16	12	69	19	△7
	消費財	13	0	54	46	△46	12	8	50	42	△34
	計	29	0	62	38	△38	28	10	61	29	△19
合計	336	3	67	30	△27	333	4	66	30	△26	

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、すべての輸送機関において2ケタのマイナスとなった。ただし、前期（2012年10～12月）実績との比較では、いずれの輸送機関においても改善がみられ、とくに外貿コンテナの輸出では14ポイントの大幅な上昇となっている。

■ 2013年4～6月の見通しでは、すべての輸送機関においてさらに『荷動き指数』が改善する見込みであり、外貿コンテナの輸出・輸入では1ケタ台のマイナスまで上昇するものとみられる。一方、国際航空の輸出・輸入では小幅な改善にとどまっており、荷動き回復に向けての足取りはまだ重い。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ —輸出—

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、パルプ・紙および生産財卸がプラス、繊維・衣服および窯業・土石がゼロ水準で、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△12で、前期（2012年10～12月）実績からは14ポイントの大幅な上昇がみられた。

■ 2013年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、繊維・衣服、化学・プラスチック、窯業・土石の3業種がプラスに浮上するなど、多くの業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『荷動き指数』は9ポイント上昇して△3と見込まれ、荷動きの減退圧力はかなり弱まる見通しである。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	18	22	45	33	△11	18	17	50	33	△16
繊維・衣服	13	8	84	8	0	14	29	50	21	8
木材・家具	7	0	71	29	△29	7	0	86	14	△14
パルプ・紙	14	21	72	7	14	14	50	43	7	43
化学・プラスチック	56	14	57	29	△15	56	27	50	23	4
窯業・土石	19	26	48	26	0	19	26	58	16	10
鉄鋼・非鉄	46	15	55	30	△15	46	17	61	22	△5
金属製品	19	0	74	26	△26	19	5	58	37	△32
一般機械	67	16	56	28	△12	67	24	45	31	△7
電気機械	53	20	57	23	△3	52	23	50	27	△4
輸送用機械	48	27	40	33	△6	48	21	48	31	△10
精密機械	13	8	69	23	△15	13	15	54	31	△16
その他	28	11	46	43	△32	29	21	48	31	△10
計	401	17	55	28	△11	402	22	51	27	△5
生産財	10	20	70	10	10	10	50	40	10	40
消費財	12	8	59	33	△25	12	17	50	33	△16
計	22	13	64	23	△10	22	32	45	23	9
合計	423	16	56	28	△12	424	23	51	26	△3

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、繊維・衣服、窯業・土石、生産財卸の3業種がプラスで、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△11で、前期（2012年10～12月）実績からは4ポイント上昇した。

■ 2013年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、化学・プラスチック、鉄鋼・非鉄、輸送用機械の3業種がプラスに浮上し、その他の製造業もゼロ水準まで戻すなど、多くの業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『荷動き指数』は6ポイント上昇して△5と見込まれ、荷動きの減退圧力は弱まる見通しである。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業 種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食 料 品 ・ 飲 料	23	13	48	39	△ 26	23	17	44	39	△ 22
繊 維 ・ 衣 服	14	29	57	14	15	14	43	36	21	22
木 材 ・ 家 具	18	11	72	17	△ 6	18	6	72	22	△ 16
パ ル プ ・ 紙	15	6	67	27	△ 21	15	13	67	20	△ 7
化学・プラスチック	53	8	75	17	△ 9	53	17	68	15	2
窯 業 ・ 土 石	19	32	47	21	11	19	26	53	21	5
鉄 鋼 ・ 非 鉄	37	11	57	32	△ 21	37	19	65	16	3
金 属 製 品	18	0	78	22	△ 22	18	0	72	28	△ 28
一 般 機 械	62	13	53	34	△ 21	62	19	49	32	△ 13
電 気 機 械	59	19	56	25	△ 6	59	23	46	31	△ 8
輸 送 用 機 械	52	23	50	27	△ 4	52	25	54	21	4
精 密 機 械	13	15	47	38	△ 23	13	15	47	38	△ 23
そ の 他	32	16	59	25	△ 9	31	19	62	19	0
計	415	14	59	27	△ 13	414	19	56	25	△ 6
卸 売 業										
生 産 財	19	26	53	21	5	19	37	37	26	11
消 費 財	18	22	28	50	△ 28	18	22	33	45	△ 23
計	37	24	41	35	△ 11	37	30	35	35	△ 5
合 計	452	16	57	27	△ 11	451	20	55	25	△ 5

(3) 国際航空 —輸出—

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、プラスの業種は皆無で、輸送用機械が1ケタのマイナスにとどまる以外は、残り14業種が2ケタのマイナスとなった。『利用動向指数』は△22で、前期（2012年10～12月）実績からは6ポイントの上昇となった。

■ 2013年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、引き続きプラスの業種は皆無であるが、生産財卸がゼロ水準に戻すなど半数近くの業種において改善する。一方、消費財卸など5業種では悪化が見込まれており、業種により跛行性がみられる。業種全体の『荷動き指数』は△20と2ポイント上昇する見込みで、荷動きの減退圧力は若干弱まるものの引き続き低迷する見通しである。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	9	0	44	56	△56	9	0	44	56	△56
	繊維・衣服	8	0	88	12	△12	7	0	86	14	△14
	木材・家具	4	0	75	25	△25	4	0	75	25	△25
	パルプ・紙	5	0	60	40	△40	5	20	40	40	△20
	化学・プラスチック	34	3	82	15	△12	34	6	82	12	△6
	窯業・土石	9	12	44	44	△32	9	11	56	33	△22
	鉄鋼・非鉄	27	7	71	22	△15	27	3	78	19	△16
	金属製品	15	7	53	40	△33	15	0	53	47	△47
	一般機械	64	6	64	30	△24	64	9	63	28	△19
	電気機械	70	10	54	36	△26	69	13	51	36	△23
	輸送用機械	38	11	76	13	△2	38	13	71	16	△3
	精密機械	15	13	54	33	△20	15	13	54	33	△20
	その他	19	10	37	53	△43	19	6	47	47	△41
計	317	7	63	30	△23	315	9	62	29	△20	
卸 売 業	生産財	8	12	63	25	△13	8	25	50	25	0
	消費財	10	10	50	40	△30	10	0	50	50	△50
	計	18	11	56	33	△22	18	11	50	39	△28
合計	335	8	62	30	△22	333	9	62	29	△20	

(4) 国際航空 — 輸入 —

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、プラスの業種は皆無で、木材・家具がゼロ水準、化学・プラスチックが1ケタのマイナスにとどまる以外は、残り13業種が2ケタのマイナスとなった。『利用動向指数』は△25で、前期（2012年10～12月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2013年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、引き続きプラスの業種は皆無であるが、過半数の業種において改善がみられる。業種全体の『荷動き指数』は△21と4ポイント上昇する見込みで、荷動きの減退圧力は若干弱まるものの引き続き低迷する見通しである。

国際航空による輸入量の実績と見通し

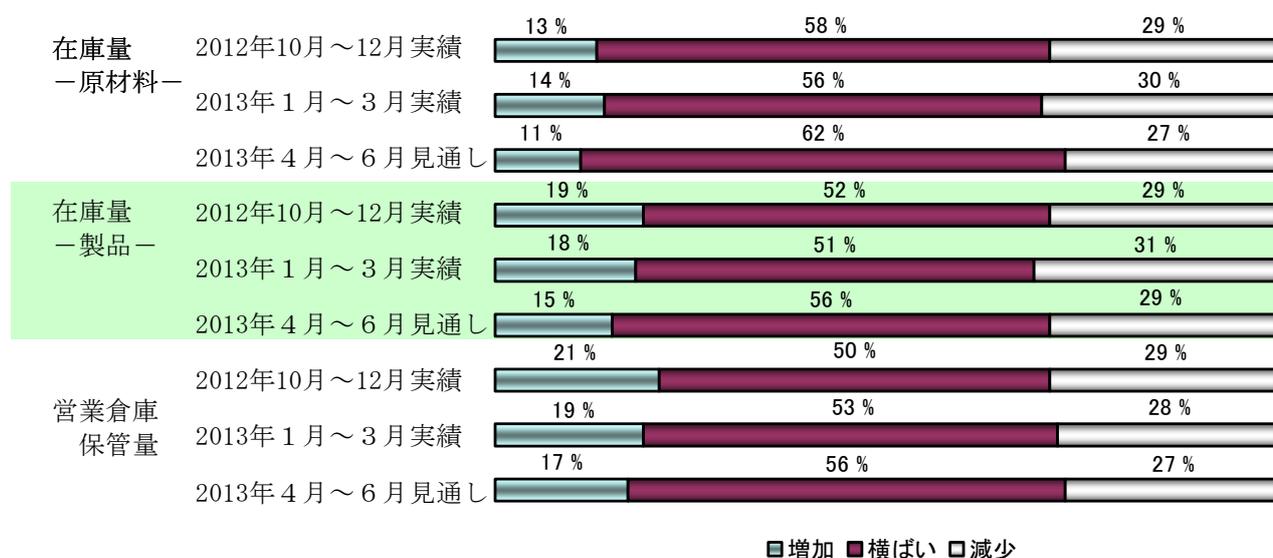
業 種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食 料 品 ・ 飲 料	9	0	56	44	△ 44	9	0	56	44	△ 44	
繊 維 ・ 衣 服	9	0	78	22	△ 22	9	0	78	22	△ 22	
木 材 ・ 家 具	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0	
パ ル プ ・ 紙	4	0	50	50	△ 50	4	0	50	50	△ 50	
化学・プラスチック	27	4	85	11	△ 7	27	4	89	7	△ 3	
製 造 業	窯 業 ・ 土 石	10	10	60	30	△ 20	10	10	70	20	△ 10
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	24	4	67	29	△ 25	24	0	75	25	△ 25
	金 属 製 品	13	0	77	23	△ 23	13	8	69	23	△ 15
	一 般 機 械	50	4	60	36	△ 32	50	6	64	30	△ 24
	電 気 機 械	55	7	60	33	△ 26	55	7	58	35	△ 28
	輸 送 用 機 械	34	6	76	18	△ 12	34	11	71	18	△ 7
	精 密 機 械	14	7	50	43	△ 36	14	14	43	43	△ 29
	そ の 他	18	17	39	44	△ 27	18	17	44	39	△ 22
計	271	5	65	30	△ 25	271	7	66	27	△ 20	
卸 売 業	生 産 財	11	0	55	45	△ 45	11	18	36	46	△ 28
	消 費 財	11	0	73	27	△ 27	11	0	73	27	△ 27
	計	22	0	64	36	△ 36	22	9	55	36	△ 27
合 計	293	5	65	30	△ 25	293	7	65	28	△ 21	

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 2013年1～3月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも、『動向指数』は引き続きマイナスとなった。前期（2012年10～12月）実績と比較すると、原材料在庫では横ばいで推移したが、製品在庫および営業倉庫保管量では小幅ながら『動向指数』が低下した。

■ 2013年4～6月の見通しについては、原材料在庫では『動向指数』が横ばいで推移するが、製品在庫および営業倉庫保管量では弱含み横ばいとなる見込みである。このため、在庫圧縮および営業倉庫保管量削減の方向には変化がないものとみられる。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、木材・家具が唯一プラスを示し、残り14業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△16で、前期（2012年10～12月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2013年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、化学・プラスチックおよび生産財卸がプラスに反転する一方、木材・家具がマイナスに落ち込む。この結果、業種全体の『在庫動向指数』には引き続き横ばいの動きが見込まれ、原材料在庫の圧縮の動きに変化がないものとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	90	11	59	30	△19	90	8	70	22	△14
繊維・衣服	36	3	58	39	△36	37	8	57	35	△27
木材・家具	40	30	53	17	13	40	14	58	28	△14
パルプ・紙	47	12	60	28	△16	47	9	70	21	△12
化学・プラスチック	100	16	59	25	△9	99	19	64	17	2
窯業・土石	37	11	65	24	△13	37	8	78	14	△6
鉄鋼・非鉄	106	14	60	26	△12	106	8	68	24	△16
金属製品	40	10	55	35	△25	40	5	60	35	△30
一般機械	85	15	52	33	△18	85	16	55	29	△13
電気機械	112	13	51	36	△23	112	9	57	34	△25
輸送用機械	92	15	52	33	△18	92	7	57	36	△29
精密機械	24	12	46	42	△30	24	13	58	29	△16
その他	56	7	63	30	△23	56	10	61	29	△19
計	865	14	56	30	△16	865	11	62	27	△16
生産財	39	18	59	23	△5	39	23	59	18	5
消費財	30	17	50	33	△16	30	6	67	27	△21
計	69	17	55	28	△11	69	16	62	22	△6
合計	934	14	56	30	△16	934	11	62	27	△16

(2) 在庫量 —製品—

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、プラスの業種は皆無で、全15業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△13で、前期（2012年10～12月）実績からは3ポイント低下した。

■ 2013年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがプラスに反転する一方、電気機械や輸送用機械などでマイナス幅が拡大する。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△14と弱含み横ばいで推移すると見込まれ、製品在庫の圧縮が若干進むとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	90	19	54	27	△8	90	12	66	22	△10
	繊維・衣服	38	13	50	37	△24	38	21	42	37	△16
	木材・家具	40	17	55	28	△11	40	10	55	35	△25
	パルプ・紙	48	15	50	35	△20	48	17	58	25	△8
	化学・プラスチック	109	23	50	27	△4	109	25	60	15	10
	窯業・土石	41	19	49	32	△13	41	17	63	20	△3
	鉄鋼・非鉄	104	15	53	32	△17	104	11	63	26	△15
	金属製品	43	19	51	30	△11	43	7	63	30	△23
	一般機械	90	22	42	36	△14	90	24	42	34	△10
	電気機械	114	18	49	33	△15	114	13	48	39	△26
	輸送用機械	95	15	53	32	△17	95	11	52	37	△26
	精密機械	25	4	60	36	△32	25	8	68	24	△16
その他	59	15	51	34	△19	59	16	53	31	△15	
計	896	17	51	32	△15	896	16	55	29	△13	
卸売業	生産財	60	16	52	32	△16	60	23	50	27	△4
	消費財	43	16	58	26	△10	43	9	65	26	△17
	計	103	17	54	29	△12	103	17	57	26	△9
合計	999	18	51	31	△13	999	15	56	29	△14	

(3) 営業倉庫保管量

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『保管動向指数』は、化学・プラスチック、生産財卸、消費財卸の3業種がプラス、木材・家具がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△9で、前期（2012年10～12月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 2013年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、窯業・土石がプラスに反転する一方、木材・家具および消費財卸がマイナスに落ち込む。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△10と弱含み横ばいで推移する見通しであり、営業倉庫保管量には削減圧力が若干強まるとみられる。

営業倉庫保管量の実績と見通し

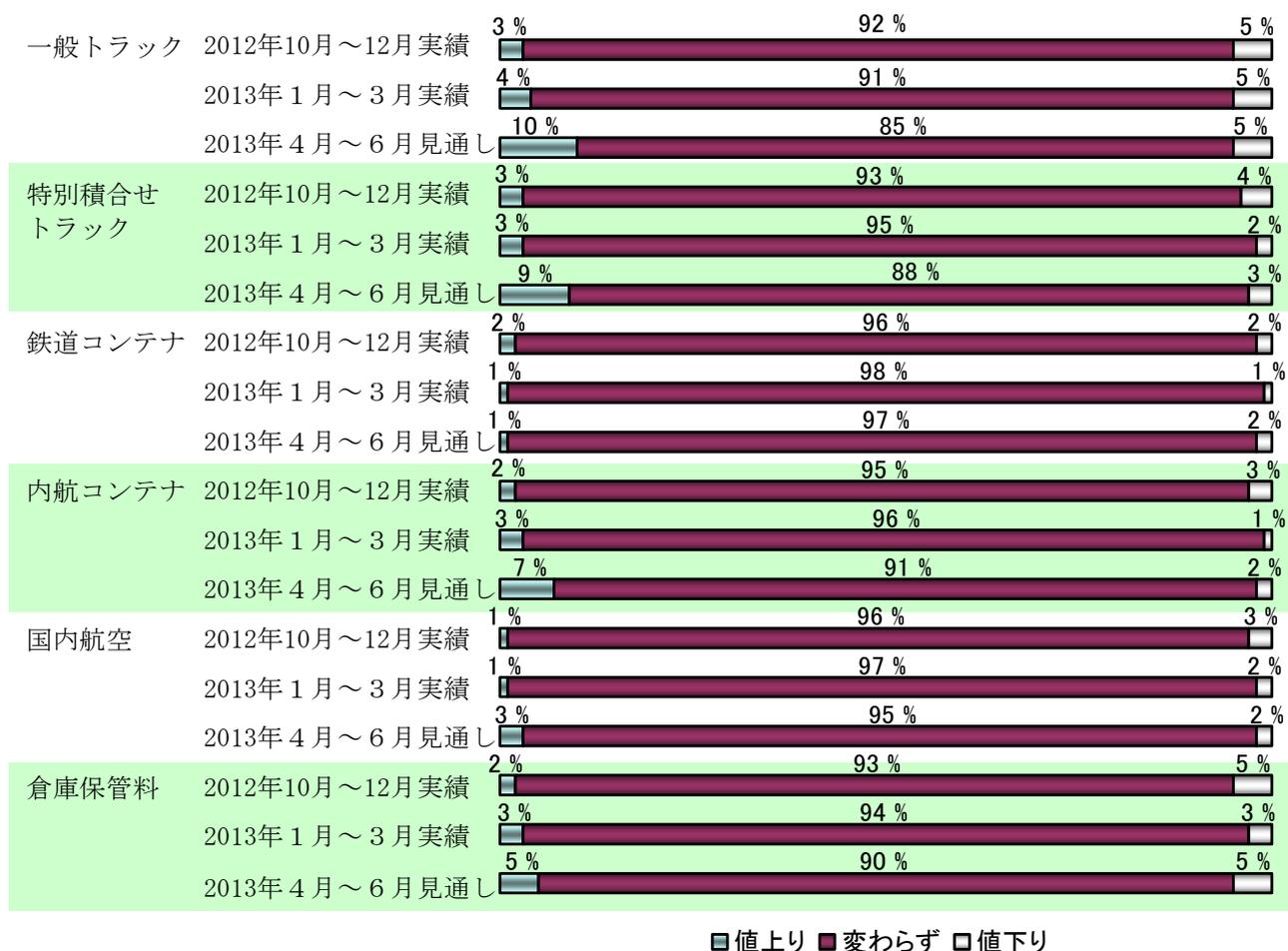
業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	76	13	59	28	△15	76	14	65	21	△7
繊維・衣服	18	17	50	33	△16	17	18	41	41	△23
木材・家具	32	19	62	19	0	31	9	68	23	△14
パルプ・紙	38	13	53	34	△21	38	18	53	29	△11
化学・プラスチック	90	29	53	18	11	90	28	58	14	14
窯業・土石	26	19	54	27	△8	26	23	58	19	4
鉄鋼・非鉄	75	16	56	28	△12	75	13	64	23	△10
金属製品	22	13	55	32	△19	22	9	59	32	△23
一般機械	66	17	50	33	△16	66	16	52	32	△16
電気機械	75	16	48	36	△20	75	13	44	43	△30
輸送用機械	58	21	53	26	△5	58	16	53	31	△15
精密機械	15	13	47	40	△27	16	0	56	44	△44
その他	42	17	45	38	△21	42	21	50	29	△8
計	633	18	53	29	△11	632	17	56	27	△10
卸売業										
生産財	42	26	50	24	2	42	26	50	24	2
消費財	36	22	59	19	3	36	16	56	28	△12
計	78	24	54	22	2	78	21	53	26	△5
合計	711	19	53	28	△9	710	17	56	27	△10

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 2013年1～3月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、内航コンテナでプラス2となる以外は、残りすべての機関でゼロ水準±1の範囲内に収まり、概ね現状維持の傾向が強い。前期（2012年10～12月）実績との比較では、『動向指数』は小幅の変化で推移した。

■ 2013年4～6月の『動向指数』見通しについては、特別積合せトラックではプラス6、一般トラックおよび内航コンテナではプラス5と運賃はやや上昇方向に動くが、その他の機関では『動向指数』が引き続きゼロ水準±1の範囲内にとどまり、総じて運賃・料金水準の大幅な変動は見込めない。

運賃・料金の実績と見通し



(1) 一般トラック運賃

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、繊維・衣服、木材・家具など7業種がプラス、食料品・飲料および電気機械がゼロ水準で、精密機械など6業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△1で、前期(2012年10～12月)実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2013年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、食料品・飲料など4業種がプラスに浮上し、金属製品もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は6ポイント上昇してプラス5と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が若干強まるとみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	103	5	90	5	0	103	11	84	5	6
繊維・衣服	35	6	94	0	6	35	17	80	3	14
木材・家具	42	7	91	2	5	42	14	84	2	12
パルプ・紙	49	2	98	0	2	49	4	96	0	4
化学・プラスチック	112	3	90	7	△4	110	8	89	3	5
窯業・土石	38	8	89	3	5	38	11	87	2	9
鉄鋼・非鉄	110	4	90	6	△2	110	9	81	10	△1
金属製品	48	2	94	4	△2	48	4	92	4	0
一般機械	96	3	91	6	△3	95	7	88	5	2
電気機械	119	5	90	5	0	119	11	83	6	5
輸送用機械	95	6	87	7	△1	94	7	83	10	△3
精密機械	23	4	83	13	△9	22	5	86	9	△4
その他	58	3	97	0	3	57	7	93	0	7
計	928	4	91	5	△1	922	9	86	5	4
卸売業										
生産財	57	7	88	5	2	57	18	77	5	13
消費財	47	4	94	2	2	46	15	83	2	13
計	104	6	90	4	2	103	17	80	3	14
合計	1,032	4	91	5	△1	1,025	10	85	5	5

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、繊維・衣服、窯業・土石など9業種がプラス、鉄鋼・非鉄、電気機械、その他の製造業の3業種がゼロ水準で、パルプ・紙、一般機械、精密機械の3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期(2012年10～12月)実績からは2ポイント上昇した。

■ 2013年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、金属製品がゼロ水準まで下降する一方、その他の製造業など4業種がプラスに浮上し、一般機械もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は5ポイント上昇してプラス6と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が若干強まるとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	69	1	99	0	1	69	6	91	3	3
	繊維・衣服	32	6	94	0	6	32	19	78	3	16
	木材・家具	31	3	97	0	3	31	13	87	0	13
	パルプ・紙	31	0	97	3	△3	31	13	81	6	7
	化学・プラスチック	93	4	93	3	1	92	7	93	0	7
	窯業・土石	31	10	87	3	7	31	10	87	3	7
	鉄鋼・非鉄	67	1	98	1	0	66	6	94	0	6
	金属製品	35	3	97	0	3	35	3	94	3	0
	一般機械	73	3	92	5	△2	72	4	92	4	0
	電気機械	95	3	94	3	0	95	11	85	4	7
	輸送用機械	69	6	93	1	5	68	6	90	4	2
	精密機械	16	0	94	6	△6	16	0	94	6	△6
	その他の	40	3	94	3	0	40	13	85	2	11
	計	682	3	95	2	1	678	8	89	3	5
卸売業	生産財	45	4	96	0	4	45	24	76	0	24
	消費財	36	3	97	0	3	34	15	82	3	12
	計	81	4	96	0	4	79	20	79	1	19
合計	763	3	95	2	1	757	9	88	3	6	

(3) 鉄道コンテナ運賃

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料および輸送用機械がプラス、繊維・衣服など10業種がゼロ水準で、化学・プラスチック、一般機械、精密機械の3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はゼロ水準で、前期（2012年10～12月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2013年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、食料品・飲料でプラス幅が拡大する一方、鉄鋼・非鉄および金属製品がマイナスに沈み、化学・プラスチックのマイナス幅が拡大する以外に動きはみられず、業種全体の『運賃動向指数』は△1と弱含み横ばいでの推移が見込まれる。この結果、運賃水準はいくぶん弱含む見通しである。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業 種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	52	2	98	0	2	52	4	96	0	4
	繊維・衣服	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
	木材・家具	21	0	100	0	0	21	0	100	0	0
	パルプ・紙	35	0	100	0	0	35	0	100	0	0
	化学・プラスチック	78	0	99	1	△1	78	0	97	3	△3
	窯業・土石	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
	鉄鋼・非鉄	43	0	100	0	0	43	2	93	5	△3
	金属製品	20	0	100	0	0	20	0	95	5	△5
	一般機械	38	0	95	5	△5	38	0	95	5	△5
	電気機械	40	0	100	0	0	41	0	100	0	0
	輸送用機械	34	6	94	0	6	34	9	88	3	6
	精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14
	その他の	24	0	100	0	0	24	0	100	0	0
計	413	1	98	1	0	414	1	97	2	△1	
卸 売 業	生産財	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
	消費財	15	0	100	0	0	15	0	100	0	0
	計	28	0	100	0	0	28	0	100	0	0
合計	441	1	98	1	0	442	1	97	2	△1	

(4) 内航コンテナ運賃

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、窯業・土石など5業種がプラス、繊維・衣服など9業種がゼロ水準で、精密機械がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2で、前期(2012年10～12月)実績からは3ポイント上昇した。

■ 2013年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、輸送用機械でプラス幅が縮小する一方、その他の製造業がプラスに浮上し、食料品・飲料および化学・プラスチックのプラス幅が拡大する以外に動きはみられない。業種全体の『運賃動向指数』は3ポイント上昇してプラス5と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が若干強まるとみられる。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業 種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	34	6	91	3	3	34	12	85	3	9
	繊維・衣服	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0
	木材・家具	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0
	パルプ・紙	18	6	88	6	0	18	6	88	6	0
	化学・プラスチック	44	2	98	0	2	44	11	89	0	11
	窯業・土石	9	11	89	0	11	9	11	89	0	11
	鉄鋼・非鉄	28	0	100	0	0	28	0	100	0	0
	金属製品	13	0	100	0	0	13	8	84	8	0
	一般機械	31	3	94	3	0	31	3	94	3	0
	電気機械	28	7	93	0	7	28	7	93	0	7
	輸送用機械	24	8	92	0	8	24	13	79	8	5
	精密機械	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
	その他	20	0	100	0	0	19	5	95	0	5
計	272	4	95	1	3	271	7	90	3	4	
卸 売 業	生産財	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
	消費財	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
	計	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
合計	286	3	96	1	2	285	7	91	2	5	

(5) 国内航空運賃

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料および輸送用機械がプラス、繊維・衣服など8業種がゼロ水準で、パルプ・紙、窯業・土石など5業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△1で、前期（2012年10～12月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2013年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、金属製品がマイナスに沈む一方、木材・家具、生産財卸、消費財卸の3業種がプラスに浮上し、食料品・飲料でプラス幅が拡大する以外に動きはみられない。業種全体の『運賃動向指数』は2ポイント上昇してプラス1と見込まれ、運賃水準はいくぶん強含む見通しである。

国内航空運賃の実績と見通し

業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	21	5	95	0	5	21	10	90	0	10
	繊維・衣服	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0
	木材・家具	9	0	100	0	0	9	11	89	0	11
	パルプ・紙	9	0	89	11	△11	9	0	89	11	△11
	化学・プラスチック	32	0	100	0	0	32	0	100	0	0
	窯業・土石	10	0	90	10	△10	10	0	90	10	△10
	鉄鋼・非鉄	29	0	100	0	0	29	0	100	0	0
	金属製品	13	0	100	0	0	13	0	92	8	△8
	一般機械	51	0	98	2	△2	51	0	98	2	△2
	電気機械	60	2	95	3	△1	60	2	95	3	△1
	輸送用機械	30	7	93	0	7	30	7	93	0	7
	精密機械	13	0	92	8	△8	13	0	92	8	△8
	その他	18	0	100	0	0	17	0	100	0	0
計	300	1	97	2	△1	299	2	96	2	0	
卸 売 業	生産財	16	0	100	0	0	16	12	88	0	12
	消費財	12	0	100	0	0	12	8	92	0	8
	計	28	0	100	0	0	28	11	89	0	11
合計	328	1	97	2	△1	327	3	95	2	1	

(6) 営業倉庫保管料金

■ 2013年1～3月実績（見込み）の『料金動向指数』は、繊維・衣服、消費財卸など6業種がプラス、木材・家具など4業種がゼロ水準で、窯業・土石、輸送用機械など5業種がマイナスとなった。業種全体の『料金動向指数』はゼロ水準で、前期（2012年10～12月）実績からは3ポイント上昇した。

■ 2013年4～6月の『料金動向指数』見通しでは、一般機械がゼロ水準まで戻す一方、金属製品がマイナスに沈み、消費財卸もゼロ水準まで下降する。業種全体の『料金動向指数』は横ばいで推移し、料金水準は現状維持となる見通しである。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	60	5	95	0	5	60	12	82	6	6
繊維・衣服	12	8	92	0	8	12	17	83	0	17
木材・家具	24	0	100	0	0	24	0	100	0	0
パルプ・紙	33	3	94	3	0	33	3	94	3	0
化学・プラスチック	85	0	96	4	△4	85	2	93	5	△3
窯業・土石	20	0	95	5	△5	20	0	95	5	△5
鉄鋼・非鉄	58	0	97	3	△3	58	2	91	7	△5
金属製品	20	5	95	0	5	20	5	80	15	△10
一般機械	59	2	93	5	△3	59	5	90	5	0
電気機械	70	6	90	4	2	70	7	90	3	4
輸送用機械	53	0	94	6	△6	53	0	92	8	△8
精密機械	14	14	72	14	0	14	14	72	14	0
その他	37	0	100	0	0	36	0	100	0	0
計	545	2	95	3	△1	544	4	91	5	△1
卸売業										
生産財	38	3	97	0	3	38	11	84	5	6
消費財	29	7	93	0	7	29	3	94	3	0
計	67	4	96	0	4	67	7	89	4	3
合計	612	3	94	3	0	611	5	90	5	0

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、2013年1～3月実績（見込み）の『動向指数』は、木材・家具、その他の製造業など10業種がプラス、輸送用機械など3業種がゼロ水準で、金属製品および一般機械がマイナスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス2で、前期（2012年10～12月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 2013年4～6月の『動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄、電気機械など4業種がマイナスに沈む一方、精密機械がプラスに浮上し、食料品・飲料、窯業・土石などでもプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『動向指数』は2ポイント上昇してプラス4となり、物流コスト割合には大きな変化はみられない。

物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2013年1月～3月実績					2013年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降		
食料品・飲料	100	18	68	14	4	100	26	59	15	11	
繊維・衣服	41	17	68	15	2	41	17	68	15	2	
木材・家具	45	24	65	11	13	45	29	67	4	25	
パルプ・紙	50	16	72	12	4	50	18	66	16	2	
化学・プラスチック	112	16	71	13	3	112	18	71	11	7	
窯業・土石	41	22	61	17	5	41	27	68	5	22	
鉄鋼・非鉄	112	14	77	9	5	112	12	74	14	△ 2	
金属製品	50	16	64	20	△ 4	50	12	64	24	△ 12	
一般機械	95	11	67	22	△ 11	95	18	62	20	△ 2	
電気機械	128	20	64	16	4	128	19	61	20	△ 1	
輸送用機械	96	20	60	20	0	96	19	61	20	△ 1	
精密機械	27	11	78	11	0	27	15	74	11	4	
その他の	59	25	65	10	15	59	27	65	8	19	
計	956	17	68	15	2	956	19	66	15	4	
卸売業	生産財	64	22	66	12	10	64	25	67	8	17
	消費財	50	12	76	12	0	50	14	68	18	△ 4
	計	114	18	70	12	6	114	20	68	12	8
	合計	1,070	17	68	15	2	1,070	19	66	15	4